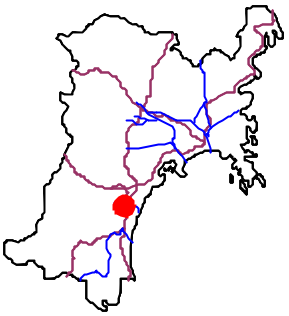
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道4号　名取大橋震災対策事業（直轄） 宮城県仙台市）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成１７年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



事業の必要性」

一般国道4号名取大橋は、一級河川名取川に架橋された橋長５４１mの長大橋であり、仙台市東部を南北に縦貫する仙台バイパスの区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、日交通量が約8万台に及ぶ動脈であり、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震の影響地域に属しています。地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあります。

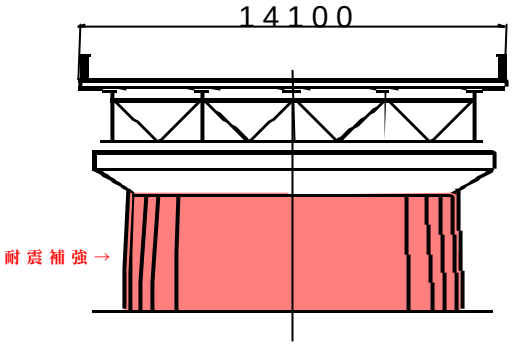
事業の概要」

名取大橋震災対策事業は、落橋防止構造及びコンクリート巻立てによる橋脚補強により、耐震性の向上を図ることとし、平成１６年度補正予算により事業に着手しています。

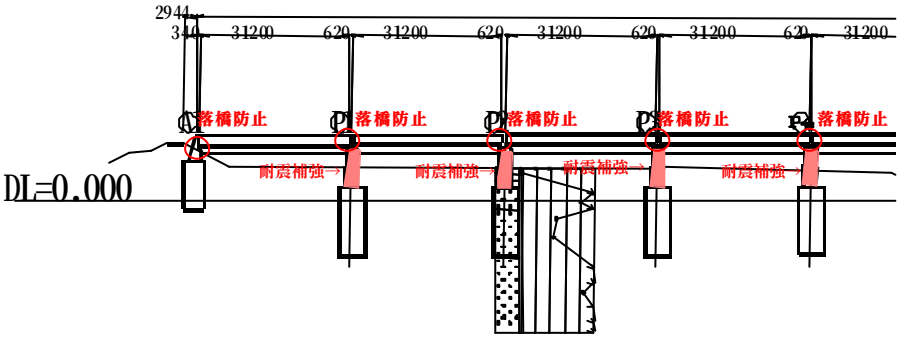
▼ 名取大橋全景



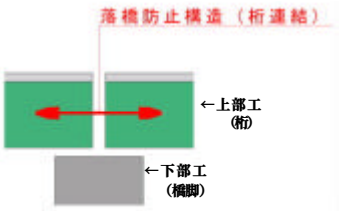
▼ 橋脚補強の概要



▼ 耐震補強の概要



▼落橋防止構造の概要



平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：82百万円
○平成17年度は引き続き落橋防止構造及び橋脚補強（コンクリート巻立て）の整備を推進し、名取大橋の震災対策を完了します。

事　業　効　果

○落橋防止構造の設置及び橋脚補強の整備により耐震性能が向上し、大規模地震時の安全性及び信頼性が向上します。